



令和 7 年度施策運営目標に係る行政評価について

令和 8 年 5 月

関 西 広 域 連 合

関西広域連合施策運営目標 期末評価について

1 趣旨

関西広域連合では、合議による組織である広域連合委員会、広域連合議会のほか、住民等から幅広く意見を聴取する広域連合協議会を設置し、関西全体の広域行政課題に取り組んでいる。

こうした体制を基本に、行政評価については、より効果的・効率的な広域行政運営及び施策の企画立案に活用するため、客観的な施策目標・指標に基づくPDCAサイクルを回すとともに、自己評価方式による施策運営目標評価を実施している。

2 自己評価の実施主体

本部事務局及び各分野事務局がそれぞれの担当事務に応じて自己評価方式で実施する。

3 自己評価の方法

広域計画に基づく中長期的な戦略的課題を設定した上で、年度ごとに施策推進上の目標を設け、事業の達成状況及び効果を把握し、必要性、効率性、有効性等の観点から自ら評価を実施し、その結果を事務事業に反映する（単年度評価・実績評価）。

- ・担当事務ごとに達成目標の設定を行い、評価を行う。
- ・中間評価及び期末評価を実施し、期末評価については、外部有識者から意見聴取を行った上で最終評価とする。

（１）評価と基準

- A 達成 （設定した目標を達成）
- B 部分達成 （設定した目標のうち一部達成）
- C 未達成 （設定した目標が未達成）

ー やむを得ない理由により、事業を中止したもの

（２）評価結果

評価	アウトプット	アウトカム
A	69	58
B	9	18
C	0	1
ー	0	1
計	78	78

令和7年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について（総括）

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
					アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
広域防災	1 大規模広域災害を想定した広域対応の推進	1	・令和6年能登半島地震における課題の検証や「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法」の見直し、南海トラフ地震臨時情報の対応に係る検証の結果等を踏まえ、関西防災・減災プラン(地震・津波災害対策編)の改訂を行う ・構成府県で実施されている新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しを踏まえ、関西防災・減災プラン(感染症対策編(新型インフルエンザ等))の改訂を行う	関西防災・減災プラン(地震・津波災害対策編)及び構成府県で実施されている新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し等を踏まえた同プラン(感染症対策編(新型インフルエンザ等))の改訂による関西全体の防災力の向上	A	関西防災・減災プランの改訂	A	関西防災・減災プランの改訂
		2	災害時相互応援協定を締結している九都県市等との訓練の相互参加や情報交換の実施 訓練への参画:2回	相互応援体制の強化による災害対応能力の向上	A	2回	A	九都県市合同防災訓練、九州地方知事会の防災訓練に参加し、災害時における相互応援体制の構築を図った。
	2 災害時の物資供給の円滑化の推進	1	南海トラフ地震等を想定した広域応援訓練等の実施 ①訓練等の実施・参画:6回 ②アンケートによる満足度85%以上	広域応援訓練等の参加者アンケートから「知識・技術を修得できた」と回答した割合:85%以上	A	①6回 ②89%	B	84%
	3 防災・減災事業の推進	1	災害時帰宅支援ステーション事業のポスター掲出等による普及・啓発、「関西広域帰宅困難者対策ガイドライン」の改訂、帰宅困難者対策訓練(図上)の実施 掲出協力店舗数:12,400店舗以上	災害時帰宅支援ステーション事業の新規協定締結店舗数:50店舗以上	A	12,432店舗	B	新規協定締結に向けて事業者と調整中
		2	防災担当職員向け研修、災害救助法実務担当者研修及び家屋被害認定業務に係る研修の実施 アンケートによる研修満足度:85%以上	研修の参加者アンケートから「知識・技術を修得できた」と回答した割合:85%以上	A	94%	A	96%
		3	「防犯防災総合展」等の防災イベントへの出展 出展回数:5回	防災イベント等での出展ブース来場者数:1,500人以上	A	5回	B	1,200人
		4	防災イベント等の機会を捉えたセミナー、シンポジウムの開催 セミナー実施:2回	セミナー受講者数:200人以上	A	3回	A	228人

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
				アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
広域観光・文化・スポーツ振興 (観光振興)	1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進	国内外観光客の誘客と関西への来訪動機づくりのため、関西に点在する文化財、食、自然など共通のテーマの観光資源について磨き上げを行い、「テーマツーリズム」を推進「関西の城たび」をテーマとした旅行商品の造成：3商品	テーマツーリズム等を通じて関西の魅力をPRすることにより、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図る	A	4商品	A	「城」をテーマにモデルコースやツアーの造成・情報発信を行い、訪日観光客に対して、関西の魅力をPRした。
		2 「関西」を魅力ある観光圏として海外に発信するため、構成府県市や関西経済界等との連携による観光プロモーションの戦略的实施 海外向けプロモーション等の実施回数：3回	海外在住の訪日検討層に対するインターネットアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合：57%(訪問西意向率)以上	A	3回	B	46.6%
	2 関西の観光・文化分野におけるDXの促進	1 関西観光本部のホームページ「The Gate to KANSAI」における、マーケティングデータ等を活用した大阪・関西万博等関西の観光情報等の発信	①「The Gate to KANSAI」の年間訪問者数：120万人以上 ②年間閲覧数：300万PV以上	A	コンテンツの充実や継続的なSNSの発信等により、効果的な情報発信に取り組んだ。	A	①395万人 ②592万PV
	3 多様な観光客への対応	1 全国通訳案内士登録業務の実施、通訳案内士育成のための研修会の開催 研修受講者数：200人以上	通訳案内士スキルアップ研修会参加者の習熟度：80%以上	A	324人	A	95.3%
	4 「2025年大阪・関西万博」等を活用した観光の推進	1 大阪・関西万博来場者に対し、会場内の催事スペースにおいて関西広域観光をPRするイベントを実施 万博会場でのイベント実施回数：3回	訪日外国人の関西(近畿運輸局管内)での平均泊数 6.0泊以上	A	4回	B	5.9泊
		2 設置した情報案内端末から関西圏域内の観光情報サイト「The Gate to KANSAI」等へ誘導することにより、訪関西観光客に旅ナカ情報を提供する ①「The Gate to KANSAI」の年間訪問者数：120万人以上 ②年間閲覧数：300万PV以上	海外在住の訪日検討層に対するインターネットアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合：57%(訪問西意向率)以上	A	①395万人 ②592万PV	B	46.6%
	5 官民が一体となった広域連携DMOの取組の推進	1 官民一体で設立した広域連携DMO「(一財)関西観光本部」による様々な観光プロモーションの戦略的实施 官民連携による海外メディア招請及び情報発信、商談会への出展回数：3回	訪日外国人の関西(近畿運輸局管内)での平均泊数 6.0泊以上	A	6回	B	5.9泊
広域観光・文化・スポーツ振興 (文化振興)	6 関西文化の振興と国内外への魅力発信	1 関西の文化資源等をテーマ等でつないだ周遊コースを造成、発信	文化資源等をテーマ等でつないだ周遊コース数：5コース以上	A	30の文化施設と連携	A	8コース
		2 文化芸術に関する構成府県市の支援策や相談窓口の状況等をとりまとめ、関西広域連合のホームページで発信	「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」のPV：700PV以上	A	文化芸術に関して構成府県市が取り組んでいる支援策や相談窓口の状況等を発信	A	932PV
	7 連携交流による関西文化の一層の向上	1 大阪・関西万博会場において、世界文化遺産、日本遺産をはじめとする関西の文化資源を発信 発信する文化資源数：8以上	歴史文化遺産への関心が高まった回答者：90%以上	A	発信した文化資源数：9	A	92.6%
	8 産学官連携による関西文化の創造	1 アーティストと企業などの異分野交流を推進し、新たな文化創造と文化芸術を活かした新たなビジネス創出や街づくりを促進 ①交流会の開催：1回 ②参加人数：200人以上	文化分野への関心が高まった企業：70%以上	A	①1回 ②250人	A	75%
	9 2025年大阪・関西万博等を契機とした関西文化の振興	1 関西のミュージアムの魅力を発信するとともに、そのツールとなるデジタルパスを広く周知するため、インフルエンサーを起用したショート動画による広報を行う ショート動画の制作・配信回数：7回	関西のミュージアムとデジタルパスの魅力を発信し、認知度を高める ショート動画の総再生回数 90万回以上	A	7回	A	219.1万回

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
				アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
広域観光・文化 ・スポーツ振興 (スポーツ振興)	1「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	1 スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等の小学生を対象とした「関西小学生スポーツ交流大会」の開催 実施:1回	スポーツ交流大会参加者アンケートから参加者の満足度:85%以上	A	1回	B	100% ※参加者数が22人と少なかった
		2 日々の運動習慣の促進と定着を図るため、デジタル技術を活用したウォーキング等のスポーツイベントの開催 実施:1回	参加人数:5,500人以上	A	1回	A	8,527人
		3 「関西マスターズゲームズ」の開催 ①広域大会:11府県市 ②地域大会:全構成府県市	①参加人数:広域大会7,000人以上 ②参加人数:地域大会85,000人以上	B	①10府県市 ②全構成府県市	C	①3,205人 ②60,966人
		4 「ワールドマスターズゲームズ関西」や「関西スポーツの日」「関西スポーツ月間」を広報、啓発するキャンペーンやイベントの開催 全構成府県市実施	参加人数:20,000人以上	B	11構成府県市実施	A	31,461人
		5 大型商業施設等PR効果の高い会場において、府県市単位では開催が困難な障害者スポーツ体験会の開催 大会:7府県市実施	障害者スポーツ体験会参加者アンケートから参加者の満足度:85%以上	B	5府県市実施	A	92.1%
		6 スポーツ振興に積極的な企業やスポーツを通じて健康経営に積極的に取り組む企業等に対する表彰の実施 実施:1回	全構成府県市から応募	A	1回	B	10構成府県市から応募
	2「スポーツの聖地関西」の実現	1 府県市単位では強化・育成が困難な障害者スポーツのアスリート向け練習会の開催 実施:5回	育成練習会参加者アンケートから参加者満足度:85%以上	A	5回	A	94.4%
		2 実績のある著名な指導者等によるスポーツ指導者に向けた講習会の開催 実施:1回	指導者講習会参加者アンケートから参加者の理解・満足度:85%以上	A	1回	A	96%
	3「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	1 周遊プログラムとして開発したサイクリングルートに関する情報発信及び関西広域サイクリングルートを活用したイベントの開催 実施:1回	参加人数:500人以上	A	1回	B	406人
		2 大阪・関西万博会場で①アスリートークショー②スポーツパフォーマンス③マルチスポーツ体験会を実施 実施:1回ずつ	イベントの満足度:85%以上	A	1回ずつ	A	97%
広域観光・文化 ・スポーツ振興 (ジオパーク推進)	1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進	1 ・大阪・関西万博会場でのジオパークPR、会場と主要駅を結ぶ交通機関等における広告掲載などにより魅力を発信 ・国内外での各種イベント等でのプロモーションの展開 ・ジオパークのガイドスキル向上等を図るための研修の実施 ①万博に関わる魅力発信件数:5件以上 ②各種イベント等でのプロモーション実施回数:5回以上 ③ガイドスキル向上等を図るための研修実施回数:1回	ジオパーク拠点施設の入込客数:年72.5万人	A	①9件 ②9回 ③1回	A	79.5万人

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
				アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
広域産業振興	1 関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化	1 関西のディープテック・スタートアップを生み出すポテンシャルを訴求し、国内外の様々なスタートアップ、投資家、人材、企業の集積を目的に情報発信を実施 ①次期情報発信戦略の策定 ②関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトのリニューアル ③関西スタートアップエコシステムに関する情報発信イベントの開催：2回(参加者延べ数：150人) ④海外メディアを活用した関西のスタートアップ情報の発信：2件	①「Global Startup Ecosystem Ranking」などのランキングの維持向上 ②情報発信イベント参加者アンケートの「関西スタートアップ・エコシステムに魅力を感じた」と回答した割合：70%以上	A	①第2期情報発信戦略を策定 ②ポータルサイトリニューアル ③2回(参加者延べ616名) ④2件	A	①ランキングの向上(81-90から71-80へ) ②【Osaka Climate Innovation Forum】82% 【J-Startup KANSAIカンファレンス】98%
		2 海外に訴求力のある大規模展示会やイベントへの参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信 ①BioJapanマッチング申込件数：参加企業数×20件以上 ②BioJapan期間中、関西広域連合ブースに誘引するため関西広域連合のパンフレットを手交：400部以上	Bio Japanマッチング件数：参加企業数×6倍以上	A	①245件(1社あたり平均件数：20.4件) ②448部	A	マッチング件数：156件(参加企業数の13倍)
		3 関西が高いポテンシャルを有するグリーン分野において産学連携による製品開発や企業間連携によるビジネス機会の創出を促進するためのフォーラムの開催 フォーラムの参加者数：220人以上	フォーラム参加者アンケートの「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合：70%以上	A	259人	A	99%
	2 高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援	1 域内の公設試験研究機関を一体的に運用し、シームレスに企業を支援する広域的プラットフォームをオール関西で構築し、イノベーションが生まれる環境の創出 ①公設試験員向け研修・交流会の参加者数：75名以上 ②「かんさいラボサーチ」アクセス件数：36,000件以上	①公設試等のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数：30件以上 ②利用企業の満足度：80%以上	B	①75名 ②25,954件	B	①：22件(R8.2月末時点) ②81.4%(R8.2月末時点)
	3 個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化	1 海外とのビジネス交流のさらなる活性化に向け、先端技術や伝統工芸品などの5分野から注目企業を紹介するWEBサイトの運営など、関西の多様な産業や域内企業の魅力を国内外へ発信 ①海外からの視察対応可能な企業の海外向けWEBサイトへの掲載数：20企業拡充(計50企業) ②構成府県市等の情報発信ツールを活用した同WEBサイトの紹介数：50件以上	海外向けWEBサイト閲覧数：2,000PV以上	A	①20社追加(計50社) ②188件	A	2,858PV
		2 国内外から多くの人々が訪れる大阪・関西万博の機会を活用し、個性豊かな域内のものづくり産業の魅力を発信 伝統的工芸品等ものづくり産業の展示会等の延べ来場者数：3,300人以上(6日間計)	伝統的工芸品やものづくり等について興味・関心が高まった人の割合：70%以上	A	22,351人	A	96.6%
	4 関西を支える人材の確保・育成	1 域内中小企業を対象に、人材確保や育成などの支援策や最新の産業情報を多様な媒体により発信する また、創業をめざす人材の育成を促進するため、域内市町村の創業支援事業に活用できるeラーニングツールを提供する ①企業の先進的な取組等を取り上げたビジネス情報紙・WEB版の発行：4回 ②eラーニングツールの導入市町村：50市町村以上	①情報紙読者の満足度：75%以上 ②利用市町村のうち「創業支援に有効であった」と回答した割合：80%以上	A	①4回 ②50市町村	A	①80% ②95.8%

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
				アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
広域産業振興 (農林水産部)	1 地産地消運動の推進による域内消費拡大	1 域内農林水産物の消費拡大を図るため、地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を「おいしい！KANSAI応援企業」に登録するとともに、ホームページで登録企業の社食メニューやCSR活動等を紹介する他、当該食堂で域内農林水産物のPRイベントを実施する 登録企業数：新規登録20社	新規登録企業へのアンケートで「今年度、域内食材を使用した」の割合：80%以上	A	26社	A	100%
		2 域内特産農林水産物の利用促進とPRを図るため、学校給食に域内の特産農林水産物を提供するとともに、生産者団体等による出前授業を実施する 域内特産農林水産物の提供学校数：32校	出前授業校へのアンケートで「域内特産農林水産物の理解が深まった」の割合：80%以上	A	176校	A	100%
		3 府県域を越えたイベント支援による直売所間の交流の創出や拡大を図る 直売所間交流回数：10回	イベントに出向いた店舗へのアンケートで「イベントに参加してよかった」の割合：80%以上	A	10回	A	100%
	2 国内外への農林水産物の販路拡大	1 大阪・関西万博に向けた文化発信イベントへ参画し、関西の食文化を支える農産物等をPR 農産物等PRブースの設置：各構成府県市	参加者アンケートでの満足度：80%以上	A	全ての構成府県市がブースを設置し、PR活動を実施	A	90%
		2 ・事業者向け海外輸出セミナーをWEB形式で開催し、時流やニーズに即したテーマ設定及び講師招聘を通じ、有益な情報を発信する ・昨年度と同様WEB開催とすることで参加の利便性を確保する ①開催回数：1回 ②参加者200名以上	輸出に取り組むうえで「役に立った」という回答：80%以上	A	①1回 ②221名	A	100%
		3 多様な販路の確保・拡大を図るため、大型量販店や外食産業などの食品関係バイヤーを招聘し、WEB型マッチング商談会を開催する ①バイヤー招聘：15社以上 ②商談機会創出：100件以上	WEB型マッチング商談を契機として域内事業者の新たな販路の開拓や取引先の獲得につながる成果を生み出し、継続的な販売機会の創出を図る ①満足度：80%以上 ②成約率：10%以上	A	①27社 ②147件	B	①58.1% ②15.7%
	3 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全	1 ・「都市農村交流サイト」の運営、域内の都市農村交流施設を対象としたデジタルスタンプラリーの実施 ・構成府県市の優良事例や交流施設等を紹介する「都市農村交流サイト」を運営するとともに、SNSを活用し情報発信 デジタルスタンプラリーの参加施設数：200施設	スタンプラリーユーザーへのアンケートで「都市農山漁村交流施設を利用したい」の割合：80%以上	B	183施設	A	100%
		2 都市農村交流に関する知見を有するアドバイザーの活動事例の紹介、SNSでアドバイザー人材バンクとその活用助成事業をPRし、地域からの要請に応じた派遣 SNSによるアドバイザー人材バンクおよび活用助成事業のPR：10回	アドバイザー派遣で助言を受けた方(講演出席者等)へのアンケートで「今後の活動の参考になった」の割合：80%以上	A	10回	A	100%

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
				アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
広域医療	1 「関西広域医療連携計画」の推進	1 関西広域医療連携計画推進委員会の開催 開催回数: 1回	より安全・安心な救急医療体制の構築	B	関西広域医療連携計画推進委員 がドクターヘリ関係者会議に参加	B	関西広域医療連携計画推進委員が ドクターヘリ関係者会議に参加する ことで、安全・安心な医療体制の構 築に寄与
		1 ドクターヘリの効率的・効果的な運航体制の確立	傷病者の救命率向上及び後遺症軽減による安全・安心の 向上	A	ドクターヘリの効率的・効果的な運 航体制の確立	A	ドクターヘリの効率的・効果的な運 航体制の確立
	2 広域救急医療体制の充実	2 広域連合管内のドクターヘリ基地病院との連携による、OJT等の実践的な研修の実施	ドクターヘリ搭乗医師・看護師数: 391名 (対R6 16人増)	A	各基地病院において、OJTによる 実践的研修を実施	A	399人
		3 ドクターヘリの普及・啓発イベントの実施 実施回数: 1回	見学会アンケート満足度: 80%以上	A	6回	A	100%
	3 災害時における広域医療体制の強 化	1 災害医療コーディネーター等に対する研修会の開催 開催数: 年1回	研修後アンケート結果満足度: 80%以上	A	1回	A	88%
		2 CBRNE災害への対応を学ぶセミナーの開催 開催数: 年1回	研修後アンケート結果満足度: 80%以上	A	1回	A	93.7%
		3 近畿府県合同防災訓練等の広域的な災害医療訓練の実施 訓練実施回数: 年1回	広域連合管内参加DMAT数: 30チーム	A	1回	A	48チーム
		4 構成府県合同による衛星携帯電話の通信訓練、広域災害救急医療情報システム(EMIS) の入力訓練等の実施 訓練実施回数: 年1回	通信訓練参加府県: 5府県以上	A	1回	A	7府県
	4 課題解決に向けた広域医療体制の 構築	1 感染症対策に係る広域連携を推進するための情報共有及び感染症担当者による情報交 換会の実施 情報交換会実施回数: 年1回以上	感染症対策に係る参加者の知識向上による体制強化	A	1回	A	「令和7年度関西広域連合各構成団 体及び連携県感染症担当者会議・ 合同研修会」に全ての構成府県市 が参加の上、情報交換等を行うと ともに、研修会によって知見の深化を 図った。
		2 薬物乱用防止対策に係る担当者会等の開催 開催数: 年1回	担当者会参加者の満足度: 80%以上	A	1回	A	100%
		3 ジェネリック医薬品の普及に係る担当者会等の開催 開催数: 年1回	担当者会参加者の満足度: 80%以上	A	1回	A	100%

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
					アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
広域環境保全	1 脱炭素社会づくり (地球温暖化対策)	1	住民や事業者、団体等が一堂に会して取組発表や交流を行うことができる「関西脱炭素フォーラム」の開催 関西脱炭素フォーラムの参加者数: 300名以上	関西脱炭素フォーラム参加者の満足度: 80%以上	A	308人	A	97%
	2 自然共生型社会づくり (生物多様性の保全)	1	自然エリアを対象として、生物多様性や自然の恵みの重要性、自然と人の営み等の気づきを目的としたスタディツアーを実施 スタディツアーの実施回数: 1回	スタディツアーの満足度: 80%以上	A	1回	A	94%
		2	・関西地域カワウ広域管理計画(第4次)に基づき、カワウ生息動向調査、飛来数および被害状況・対策状況の把握、対策検証事業の広域展開・計画作成支援 ①カワウ生息動向調査: 年3回 ②被害地への飛来回数、被害状況・対策状況の把握: 年1回 ③カワウ対策検証事業の広域展開または計画作成支援: 年1回	漁協等が被害対策に取り組む構成府県: 7府県	A	①3回 ②1回 ③1回	A	7府県
		3	ニホンジカや外来獣対策の推進のため、第二種特定鳥獣管理計画を効果的・効率的に運用するための知見や課題に関する検討会議等を開催 ①第二種特定鳥獣管理計画に関する検討会議の開催: 年5回 ②モデル集落における現地研修会: 年1回	人材育成に関わる検討会議等の参加者数: 年30人以上	A	①5回 ②1回	A	70人
	3 循環型社会づくり (資源循環の推進)	1	・マイボトルスポットMAPの新規登録数を増やすとともに、マイボトルの利用促進に資する啓発の実施 ・関西全体でファッションロス削減の機運を醸成する スポットMAP登録数新規登録: 50以上	スポットMAPアクセス数: 7,000件以上	A	91か所	A	12,784件
	4 持続可能な社会を担う人育て (環境学習の推進)	1	・地域特性を活かした交流型環境学習プログラムの実施(学習船「うみのこ」親子体験航海、自然体験教室の開催) ・持続可能な社会の担い手となる若者世代を対象とした環境学習プログラムの実施 ①地域の特性を活かした交流型環境学習プログラムの実施: 各2回 ②若者参画による環境学習プログラムの実施: 1回	各イベントにおいて目標に対する理解が深まったとする参加者割合: 90%以上	A	①2回 ②1回	A	95%
資格試験・免許	1 資格試験、免許事務の着実な推進	1	試験委員との密な連携のもと問題のチェックを強化	出題ミスの件数: 0	A	委員会・調整部会ともに計画どおり実施	A	0件
		2	・免許申請に対して正確かつ迅速な免許等の交付 ・非行免許所有者に対する厳正な対処と准看護師については再教育研修の適正な実施	免許交付処理期間の維持: 30日以内	A	免許交付事務を正確、迅速に実施	A	30日以内を維持
広域職員研修	1 幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上 2 構成団体間の相互理解及び人的ネットワークの活用 3 効率的な研修の拡大	1	政策形成能力研修の実施 受講者の研修内容に係る満足度: 90%以上	受講者の知識・技術の修得度合: 90%以上	A	97%	A	99%

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
				アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
企画調整	1 広域交通インフラ機能強化、整備促進	1 道路、空港、港湾、北陸新幹線・リニア中央新幹線等の整備について、国への要望や建設促進大会、機運醸成イベント等を実施	広域インフラ整備の推進 ・北陸新幹線機運醸成イベント来場者アンケートによる全線開業への期待度：90%以上	B	「国の施策・予算に対する提案」による要望や、北陸新幹線早期全線開業に向けた要請活動を実施。機運醸成イベント・大会については実施見送り。	—	機運醸成イベントの実施見送りのため、来場者アンケートは未実施
	2 プラスチック対策の推進	1 ・プラスチック代替素材製品の開発・製造・販売に資する情報、その普及に向けた課題や対応策・取組事例等を盛り込んだ情報集やプラスチックごみ散乱状況推計モデル活用マニュアルの利用拡大を図るための自治体・事業者等向け研修会の開催 ・関係各主体とプラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換等を行うプラットフォーム会議の開催 ①自治体・事業者等向け研修会の開催：2回 ②プラットフォーム会議の開催：2回	①参加者アンケートで研修会を有益と回答した参加者：80%以上 ②参加者アンケートでプラットフォームで共有した情報を有益と回答した参加者：80%以上	A	①2回 ②2回	A	①100% ②100%
	3 エネルギー政策の推進	1 ・関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォーム(セミナー、意見交換会、施設見学会等)の開催 ①交流会等の累計参加者数：80人以上 ②交流会の開催：計3回 ③水素分野における情報発信イベント開催：1回	参加者アンケートで、交流会の内容に「満足」または「やや満足」と回答した割合：80%以上	A	①354人 ②3回 ③1回	A	95%
	4 産学官連携によるイノベーションの強化・推進	1 関西健康・医療創生会議において、産学官連携による医療データの利活用や医療情報セキュリティ対策、広域救急・地域医療の府県域を越えた連携のあり方等に関するシンポジウム・セミナーを開催 シンポジウム・セミナー参加者：400人以上	参加者アンケートでシンポジウム・セミナーの内容に「満足した」と回答した割合：80%以上	A	1,030人	A	90%以上
	5 琵琶湖・淀川における流域ガバナンスの向上に向けた取組の推進	1 ・流域府県市で構成する水源保全連絡会議において、流域の現状と課題を共有するとともに、流域府県市の意見を聴取しながら課題解決に向けた調査研究を行う ・大阪・関西万博において催事を開催し、流域における様々な水のつながりについて情報発信する	・水源保全・水循環に関する現状と課題の共有 ・流域内の様々な主体による連携・協働の促進	A	7月30日～8月3日に万博催事を実施し、国内外に向けて広く情報発信を行った	B	万博催事では、多様な団体の参画を得るとともに、流域の高校生による意見交換を実施し、流域内で連携する機運が醸成された
	6 官民連携の推進	1 ・関西における様々な課題等について意見交換を行う「関西経済界との意見交換会」の開催 ・万博開催の効果を関西全域に波及させることを目的とした「2025年大阪・関西万博連絡会議」の開催 ・「関西女性活躍推進フォーラム」の開催、「関西SDGsプラットフォーム」の運営	関西における様々な課題への対応と官民連携の取組の推進	A	各種会議等について、計画通り実施	A	関西における課題対応や万博を通じた関西の魅力発信に向けた取組、SDGsの理念の普及について、官民連携の取組を推進
	7 情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化、データの利活用などの自治体DXを推進する	1 ・官民連携による関西のDX推進(「関西デジタル・マンス」、「関西広域データ利活用官民研究会」) ・関西圏域自治体向けのDXセミナー等の開催 ・構成団体の主要オープンデータ等を集約した「デジタルゲートウェイ」の充実 ・構成団体のDXに係る取組状況調査及び知見の共有 研究会やセミナー等の実施回数：4回以上	・関西圏域自治体のDXに向けた機運醸成 ・関西圏域自治体のオープンデータの整備や利活用の促進 データ利活用のモデルケース創出：1件以上	B	「デジタルゲートウェイ」の充実に図ったほか、研究会やセミナー等を2回実施	B	データ利活用のモデルケース創出：1件
	8 ビジネスがより効率的に行える広域的な環境づくりに向けた様式・基準の統一の推進	1 「広域的な様式・基準統一検討会議」の下に、様式統一に係る2つの部会及び基準統一に係る1つの部会を設置し、共通化に向けた検討を実施	構成団体におけるキッチンカーの営業許可基準の共通化に係る指針の運用開始	A	高圧ガス保安法部会を1回、キッチンカー部会を5回開催し、検討を行った	A	6月1日から運用を開始(鳥取県を除く)
	9 情報発信の推進	1 大阪・関西万博への関西パビリオンの出展に関する情報等をSNSやホームページ等を活用し積極的に発信 ①X(旧ツイッター)投稿数：130件 ②ホームページの「報道発表」「お知らせ」の掲載数：110回 ③メールマガジン発信回数：36回	①X(旧ツイッター)閲覧数：105,000件以上 ②ホームページ閲覧数：2,300,000PV以上 ③メールマガジン登録者数：5,100人以上	B	①118件 ②178回 ③48回	B	①3,483,284件 ②1,995,579PV ③4,980人
	10 広域連携による行財政改革の推進	1 構成府県市の広域行財政改革推進担当等との協議の場を設け、広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討等に係る複数の取組項目について、状況の把握・共有及び取組項目の実現に向けた検討を行う	4つの取組項目における令和8年度以降の具体的な取組内容の決定	A	広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討に係る4つの取組項目を決定	B	・「土木技術職員及び建築技術職員に係る人材の確保」では、具体的なプロジェクトを記載した「広域リージョン連携ビジョン」を策定・公表した。 ・「法定研修(児童福祉法関係)の合同実施」では、合同実施に向けた詳細な検討を行った

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)・目標数値	アウトカム・目標数値	評価			
				アウトプット・達成数値		アウトカム・達成数値	
地方分権改革推進	1 分権型社会の実現に向けた効果的取組の推進	1 国の事務・権限の移譲等に向けて、国の予算編成等に対する提案、地方分権改革に関する提案募集等による提案の実施	国の事務・権限の移譲等に向けた提案に国が応じ、国との間で具体的な協議に着手	A	国の施策・予算に対する提案、地方分権改革に関する提案募集を実施	B	広域連合制度における国の事務の移譲要請権の拡充について、関係省庁との調整対象となったが、提案内容の実現には至らなかった
		2 ・政府機関の地方移転及び機能向上を推進するため、政府機関と構成団体等の連携事業について情報共有 ・政府機関等の移転に係る情報発信	・政府機関を含めた団体間の連携促進 ・政府機関等の移転に係る取組の認知度向上	A	関係団体との情報共有や政府機関等の移転に係る情報発信を適宜実施	A	・政府機関や構成府県市の取組等について情報共有し、連携を促進 ・パンフレット配付や在関西政府機関と連携したイベント開催を通して、政府機関等の移転に係る取組の認知度向上につなげた
		3 近畿市長会、近畿府県町村会をはじめ管内の市町村代表者等との意見交換の実施 ①意見交換会:1回 ②情報提供:12回	意見交換会の開催及び情報提供による関西の課題等の認識共有	A	①1回 ②12回	A	意見交換会の開催及び情報提供を行うことにより、関西の課題等の認識を共有した